

第 82 回国民スポーツ大会飯山市準備委員会  
競技式典専門委員会 第2回ジャンプ台整備検討部会 結果概要

1 日 時

令和6年(2024 年)11月12日(火)16:00～17:20

2 場 所

飯山市役所 4階第1委員会室

3 出欠状況

出席 10 名(本人出席 10 名)

4 検討事項

○整備検討に伴う参考資料【資料 1】

**事務局から説明。質疑なし**

○整備方法の種類【資料 2】

**事務局から説明。質疑なし**

○将来に向けた構想(素案)及び国スポに向けた整備計画(素案)【資料 3】

**事務局から説明。質疑内容別紙**

5 その他

第3回部会 令和6年11月29日(金) 16 時から

別 紙

【委 員】 国スポに向けた整備計画(素案)で示されたアイストラックは、冷凍部分を除くと言われたかどの様な物か。

【事務局】 冷凍機の装置があるかないかの違いである。

【委 員】 アイスカッターはどの様な物を想定しているか。

【事務局】 白馬ジャンプ台の様なものである。

【委 員】 説明だと、国スポ時は従来通りアプローチに雪を引き詰める予定だが、インターハイ時の整備の大変さを考えると、アイストラックは必要と考える。

【委 員】 寡雪時は、雪を剥がして対応できるのか。

【事務局】 昨年度、全日本スキー連盟の方に現地確認を依頼した際の話では、雪が無い場合はやむなしとの事であった。再度規則的な確認も必要か。

【委 員】 かつて、一度だけアプローチの雪を剥いで実施した大会があったが、選手・監督は混乱したのを記憶している。

【委 員】 現在考えている設備は、後々冷却設備を追加できるのか。

【事務局】 理論上は可能である。

【委 員】 将来に向けてのジャンプ台利用について、長野県スキー連盟として、2029 年以降の長野県大会週間は、アルペンとノルディック種目を分離開催する事を計画しており、ノーマルヒルがあるのは白馬と飯山だけなので、どちらかにお願いしていければと考えている。

【委 員】 アイストラックばかりに注目しているが、雪上からアイストラックヘルール的に変わったのか。

【事務局】 全日本スキー連盟の方に聞いた話では、国体のルール上、アイストラックは必須ではないとのこと。

【委 員】 夏に特化したレールにすれば、経費が少なくなる。そうすれば、他設備の充実を図れる。

【委 員】 ルールに準じたため、他地域ではアイストラックを入れたのではないのか。

【事務局】 再度、全日本スキー連盟に確認をしたい。

【委員】 現実的にどこまで出来るのか、示していただけないか。着地点はどこか。

【事務局】 どこまで出来るのかという部分は決まっていない。今回の部会で決めていただいた内容と予算を含めて着地点を見出したい。また、冬の大会招致も難しい状況を見ると、サマー化がベストか。

【委員】 アイストラックを整備しないで国スポを迎えるのであれば、ナイター設備を設け、夕方から開催するなど、時間の工夫が必要と考える。

【委員】 国スポまでに整備する時間も限られているため、整備方針を早めに定めるべきと思う。

【委員】 国スポに向けた計画に記載されたアイストラックは、冷却設備を将来付ける事を考えたものか。

【事務局】 そうである。サマーに特化したルールがあるのであれば、そちらの採用を考えた。

【委員】 お金をかけない議論になると、何もしない方向性になる。

【委員】 この委員会としては、国スポに向けて、アイストラックとナイター照明を両建てで整備していくという方向で良いのではないか。

【委員】 当部会としては、国スポに向けたジャンプ台整備について、アプローチは冷却設備を備えたアイストラックと夜間競技用の照明設備を要望する。  
また、改めてルールの確認をお願いします。

- ・国スポ競技ルールの確認
- ・雪が無い場合の対応(アプローチ&ランディングバーン)
- ・可能な競技時間の範囲